

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年5月10日 第6報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	13000		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	13		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion conicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	14		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima f. spiralis</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	110		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	450		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	19		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	260		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Carteria sp.</i>	20		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	20		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	13063	92.7	81.1
(珪) 珪藻綱	663	4.7	7.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.1	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	2.1	10.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	51	0.4	0.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	14097	総体積	4.2E+06
種類数	19	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta oblonga</i>	660

第2優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Proales parasista</i>	360

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

琵琶湖における淡水赤潮の原因プランクトンになっている種類である。

動物プランクトン第1優占種



Synchaeta oblonga

(ナガマルドロワムシ) ワムシ類

体は円錐形で足は短く先端の爪は微小である。体長は225~345 μm 。体側に縦の条線があるのが特徴である。

コメント:

植物プランクトンは、先週(5/6)に増殖傾向をみせたウログレナが好天によりさらに順調に増殖し過去2年間の本調査では観測されなかった細胞数となった。通常、淡水赤潮状態でウログレナ群体数は300群体/ml以上あるが、今回の値は群体数に換算すると約43群体/mlとなる。